

**製品名: NQO1 (8F17) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe14864**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	31kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NQO1
別名	Azoreductase; DT-diaphorase; DTD; QR1; NQO1; DIA4; NMOR1;
遺伝子 ID	1728.0
SwissProt ID	P15559
免疫原	ヒト NQO1 の合成ペプチド

**背景**

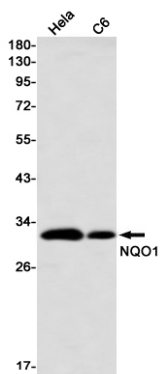
NAD(P)H:キノン酸化還元酵素 1 (NQO1) は、キノンおよびその誘導体の二電子還元を触媒するフラビントタンパク質です。本酵素

は、解毒経路に関与するヒドロキノンの抱合反応、ならびにプロトンピン合成におけるビタミン K 依存性グルタミン酸残基の  $\gamma$ -カルボキシル化などの生合成過程において、キノ還元酵素として機能すると考えられます。本酵素は、解毒経路に関与するヒドロキノンの抱合反応、ならびにプロトンピン合成におけるビタミン K 依存性グルタミン酸残基の  $\gamma$ -カルボキシル化などの生合成過程において、キノ還元酵素として機能すると考えられます。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



NQO1 抗体 (1:1000 希釈) を用いた HeLa、C6 細胞溶解物中の NQO1 のウェスタンブロット検出